

ネイティブ豚心乳酸脱水素酵素

Cat. No. DIA-206

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 乳酸脱水素酵素（LDHまたはLD）は、ほぼすべての生物細胞（動物、植物、原核生物）に存在する酵素です。LDHは、ピルビン酸を乳酸に可逆し、再び乳酸をピルビン酸に可逆する反応を触媒します。この過程で、NADHをNAD+に可逆し、再びNAD+をNADHに可逆します。脱水素酵素は、ある分子から別の分子に水素原子を移動させる酵素です。

用途 この酵素は、ATP、ADP、グルコース、クレアチニン、ピルビン酸、乳酸、グリセロールなどの多くの代謝物の酵素的測定や、関連する酵素と結合した場合の酵素活性（例：GPT、PK、CPK）の測定に役立ちます。

別名 乳酸脱水素酵素; EC 1.1.1.27; LDH; LD

製品情報

種	豚の
由来	豚の心臓
外形	1.6M 硫酸アンモニウム溶液中の結晶性懸濁液
EC番号	EC 1.1.1.27
CAS登録番号	9001-60-9
分子量	115 kDa±6,500
活性	グレードII 2,000U/ml以上
混入物	マレート脱水素酵素 < 5.0×10 ⁻² % ピルビン酸キナーゼ < 3.0×10 ⁻² % GPT < 3.0×10 ⁻² %
pH安定性	pH 6.0-8.0（23°C、22時間）
最適pH	6.0-7.4
熱安定性	50°C未満（pH 7.4、10分）
最適温度	60°C以上
ミカエリス定数	2.5×10 ⁻² M（乳酸）、1.0×10 ⁻⁴ M（ピルビン酸）
阻害剤	I ⁻ , Ag ⁺ , Hg ⁺⁺ , p-クロロ水銀ベンゾエート, LDH阻害剤（NADHから形成される）
安定化剤	NADH、2-メルカプトエタノール

保管・発送情報

安定性 5°Cで少なくとも1年間安定しています